

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム ステーション
日付	平成18年3月1日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

### 外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>建物の周りは田んぼがたくさんあり季節を感じる事ができるグループホームです。 職員は、春らしいピンクのエプロンで優しく見守り、言葉かけ、寄り添いを自然と出来ていて、入居者との親しみが伝わって来ました。面会に来てくれた家族の方も入居者と一緒にコ-ヒ-を飲んでいて、日頃から、入居者と家族及び職員との関係が出来ているのが分かりました。 入居者が居間に集まり、おしゃべりをしたり、テレビを見たり、コタツで寝ていたり、何の変哲も無い普通の家に舞い降りたような感じがしました。</p>
<p>改善の余地があると思われる点 (記述式)</p> <p>特に無し。</p>

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 記述回答	<p>グループホームとしてめざしているものは何か (記述式で回答)</p> <p>「笑顔」「思いやり」「ありのままに人間らしく、その人らしく」を理念に掲げています。身体的に出来る人、出来ない人が助け合い、生活できるグループホームになりたいと考えています。普通の家での生活のように入居者のやりたいことを、回りを気にせず何でもしてもらうことを願っています。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 記述回答	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か (記述式で回答)</p> <p>親しみやすい言葉かけ、落ち着いた寄り添いをして常に入居者と関わりを持っています。ストレスを貯めないようにしています。人生の先輩として敬意を忘れないように取り組んでいます。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏かな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライトを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 記述回答	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か (記述式で回答)</p> <p>趣味のある入居者にはその趣味を、好きなことは自由にしていただいています。認知症の進んでいる入居者は、職員が誘導して一緒にすることで、楽しんでもらっています。基本的に「みんな家族である」をモットーにして助け合う気持ちを忘れないようにしています。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 記述回答	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か</p> <p>自宅での生活と同じように「落ち着いて生活出来る」「当たり前」に生活出来る、をドメインとして動いています。そして、毎月勉強会を開き、職員のレベルアップを図っています。 夜に水分補給できるように各部屋にお茶を置くように取り組みました。入居者同士が家族のように生活して行くために見守り、言葉かけをして、安心できる生活を目指しています。</p>		